

関連イベント

1. 「なんぞやひととはとあなたのもちもの」 木村舜 ワークショップ

- 【 日程 】 2023年4月30日（日）
- 【 時間 】 13：30～16：00
- 【 会場 】 art space co-jin
- 【 人数 】 限定なし
- 【入場料】 無料
- 【参加料】 ドネーション制（任意の料金を寄付として支払ってください）
- 【申込み】 不要。先着順でご参加いただけます。
- 【 出演 】 木村舜（芸術家）

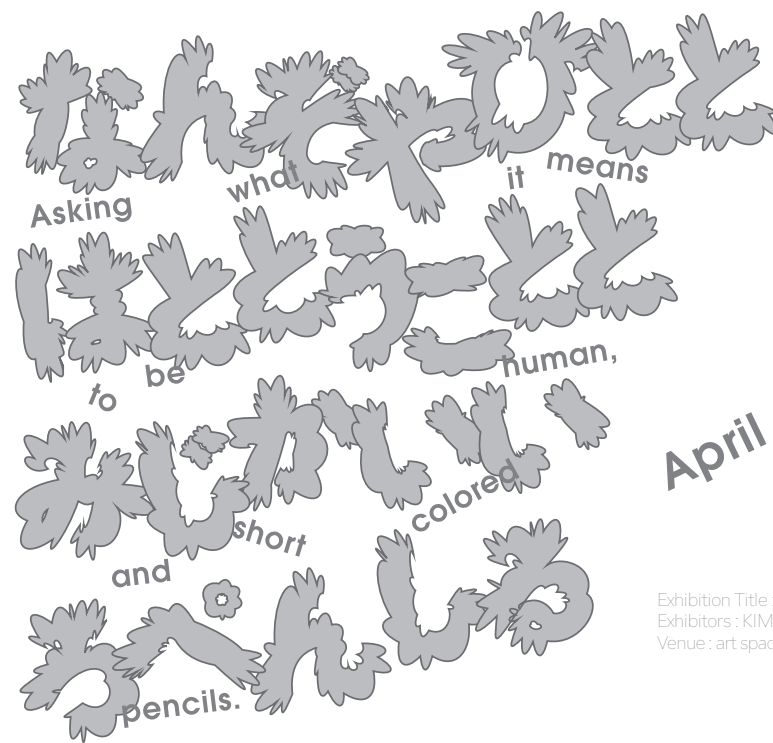
本展における「なんぞやひととはととうこと」の芸術家・木村舜がご来場の皆様のお持ち物にペイントを施します。どんな素材にするかはあなた次第。「人とは何か」その問いに彩られたいアイテムをご用意いただき、ぜひご来場下さい。

※ アクリルやガラスなどインクを弾く素材、壊れやすい素材は避けて下さい

2. 「みじかいいるぺんしるでえがく」 吉田裕志 参加 ワークショップ

- 【 日程 】 2023年5月13日（土）
- 【 時間 】 14：30～15：30
- 【 会場 】 art space co-jin
- 【 人数 】 限定なし
- 【入場料】 無料
- 【参加料】 無料
- 【申込み】 不要。先着順でご参加いただけます。
- 【 出演 】 吉田裕志、アトリエやっほう!!スタッフ

「みじかいいるぺんしる」の吉田裕志の作画を「ぬりえ」で体験するワークショップです。吉田も使用する小指の先ほどの長さの色鉛筆を使います。台紙には展示されている5作品のなかから、ある色面が抜き出されてプリントされています。そこからイメージを広げて自由に色を着けたり、作品をみながら描き写したりと楽しみ方はとりどりです。皆様のご来場をお待ちしております。



April 11 - June 25, 2023
10:00-18:00
Admission Free

Exhibition Title : Asking what it means to be human, and short colored pencils.
Exhibitors : KIMURA Shun YOSHIDA Hiroshi
Venue : art space co-jin

どうしてこの異色の二人が出会うことになったか。art space co-jin は「きょうと障害者文化芸術推進機構」（事務局 京都府健康福祉部 障害者支援課）が運営しており、ARTISTS' FAIR KYOTO は「ARTISTS' FAIR KYOTO 実行委員会」（京都府文化スポーツ部文化芸術課内）です。つまり同じ京都府の芸術文化に関する事業ということから、作家・施設の交流による芸術創作活動の新たな視点や価値を見出すために、またこれまでに互いに接触の機会がなかった顧客層にもアプローチが可能になることを期待して、今回初めてコラボレーションとして展覧会を開催する事となりました。

ARTISTS' FAIR KYOTO 実行委員会から選抜された木村舜氏は「人とは何かを問うこと」を主題とした新作9点を公開しました。ぜひ会場内の映像や作品ファイルも併せてご覧ください。そこには言語化された木村の思いが強度を持って表出されており、現代社会に生きる私たちに人間の存在意義を訴えかけています。長年にわたり作画をつづけている吉田の創作は、その屈託のない色面が見るものに脱力感を伴う心地よさを与えて、たちまち虜にさせます。短い色鉛筆から生まれる多種多様なテーマの絵画の中に、ひっそりと秘められていた驚きのこだわりもあります。ワークショップブースでは吉田技法を追体験できる画材を用意しておりますので、心ゆくまでご堪能ください。

最後になりましたが、本展開催にご協力いただきました関連施設、ご親族の方々に厚く御礼申し上げます。

出展作家：木村舜 吉田裕志

主催：きょうと障害者文化芸術推進機構、art space co-jin
協力：アルテック、京都市ふしみ学園 アトリエやっほう!!、ARTISTS' FAIR KYOTO 実行委員会

KIMURA
Shun



YOSHIDA
Hiroshi

【 問い合わせ 】：art space co-jin Tel 050-1110-7655 Email info@co-jin.jp

art space co-jin

きょうと障害者文化芸術推進機構

出品作家プロフィール



Photo by MAETANI Kai

木村舜

KIMURA Shun

1992年生まれ

「人とはなにか」という疑問を解き明かし、自身が生きる意味や存在理由を探る為、社会の中で生じる違和感や人科の生物という括りの中で生きる意味、神や魂といった概念的存在、自身から溢れ出るかの様に生じ続ける苦しみや本能を考察、探求し、作品として表現を行う事によってその疑問を解き明かせるのではないかという動機から制作活動を行っている。

作品コンセプト

人間社会や世界の動き、自分自身を含めた「人間」を対峙し、その過程で生まれる思想や考察、空想を自身の言葉や絵画、彫刻等様々な物を用いて制作し、表現を行う事によって自身の存在意義や「人間」を創出していく。

2017年 京都造形芸術大学 大学院 芸術専攻 修了

個展歴

2018年「にん間木村舜」山中suplex(京都)

2019年「個展」香港アートセンター(香港)

2020年「混乱する今において表現された人の性や感情」gallery Marco(大阪)

2021年「人 /Huanity」YUKIKO MIZUTANI GALLERY(東京)

グループ展

2020年「Object2020」HOTEL ANTEROOM KYOTO GALLERY 9.5(京都)

2020年「ドライブイン展覧会 類比の鏡/The Analogical Mirrors」山中SUPLEX(滋賀)

2021年「山中サマーソルトキック」MtK Contemporary Art (京都市内)

2021年「ART drops」SPinniNG MiLL他 (大阪市堺区)

2021年「余の光/Light of My World」旧銀鈴ビル (京都府福知山市)

2022年「山中SUPLEX 別棟MINE OPEN HOUSE」NANEI 新町 bld.GALLERY02 港区(大阪)

アートフェア

2020年「One art taipei」シャールウッドホテル(アデミラギャラリー 台湾,台北市)

2021年「ART FAIR TOKYO」東京国際フォーラム(YUKIKO MIZUTANI 東京)

2022年「ARTISTS' FAIR KYOTO:SATELLITE 2022 GOLDEMEMBER 2022」(下鴨茶寮/京都)



吉田裕志

HIROSHI Yoshida

1973 年生まれ

2008年、京都市ふしみ学園に「アトリエやっほう!!」が誕生した時から在籍。当初は陶芸を中心に、細部まで作り込まれた電車などを制作。2014年頃から本格的に始めた作画では、オイルパステルでの動物画が多く描かれた。どの作品も大胆な構図とタッチで動物の表情が愛らしく描かれている。

最近は画材が色鉛筆に変わり、題材は「家族旅行の風景」「お祭り」「懐かしい60年代の名画」など多岐にわたるようになる。それらの作品に登場する人物はコミカルでユーモラスに描かれ、塗り重ねることで色面に強度が増した画面の緊張を緩和する。

京都市ふしみ学園 アトリエやっほう!! 所属

受賞歴

2015年「チェリスト」ポコラート 入選

2017年「眠狂四郎」「歌舞伎」ポコラート 入選

2020年「寿司屋」第3回日本財団Diversity in the arts 公募展 佳作

個展

2017年「吉田裕志とその仲間たち展」ホホホ座浄土寺店1F (京都)

2018年「パレスサイドホテル ロビー展示」ザ・パレスサイドホテル (京都)

2020年「吉田裕志 個展」スタジオ&ギャラリーMATTua-LA (京都)

2022年「てくてくちきゅうさんぽ」はあと・フレンズ・ストア (京都)

グループ展

2014年「KYOTO L'art brut 6 EXHIBITION」oinai karasuma (京都)

2015年「秋のONE DAY SPECIAL」京都KBSホール (京都)

2015年「第4回アウトサイダーアート2015豊橋」豊橋市美術博物館 (愛知)

2015年「ポコラート全国公募展Vol.6」アーツ千代田3331 (東京)

2015年「天オアートミュージアム2015」堀川御池ギャラリー (京都)

2016年「福祉現場で生まれるアート展」大阪デザイン振興プラザ (ODP) (大阪)

2016年「第5回アウトサイダーアート2016豊橋」豊橋市美術博物館 (愛知)

2016年「エイブルアート近畿2016ひと・アート・まち和歌山「電車天国」」紀伊田辺駅に隣接するギャラリー (和歌山)

2016年「共生の芸術祭「よこ×マフ」」art space co-jin (京都)

2017年「第6回アウトサイダーアート2017豊橋」豊橋市美術博物館 (愛知)

2017年「東京だよ!「アトリエやっほう!!」」J'GALLERY&CAFÉ (東京)

2018年「旅するまなざし〜みつめる世界」きりん舎 (京都)